

IFRS

国際財務報告基準
International Financial Reporting Standards

正しく知りたい IFRS



日本公認会計士協会

The Japanese Institute of Certified Public Accountants

はじめに

IFRS（国際財務報告基準）についての情報が増え、企業や投資家からの注目が高まっています。書店にはたくさんの書籍やビジネス誌が並び、セミナー等も多数開催されています。しかしその中には、様々な情報が氾濫しており、IFRSについての正しい理解が得られにくいのも事実です。

このリーフレットは、IFRS についての正しい情報を提供し、中堅企業経営者・ビジネスマン・投資家に的確な理解を促すことを目的に、日本公認会計士協会が制作しました。

IFRS とは何か？

IFRS（International Financial Reporting Standards）邦訳は国際財務報告基準。

IASB（International Accounting Standards Board：国際会計基準審議会）が作成しています。

IASB の前身である IASC（International Accounting Standards Committee：国際会計基準委員会）が作成した基準は IAS(International Accounting Standards：国際会計基準)と呼ばれ、第 41 号まであり、現在も有効です。

IASB が作成した基準は IFRS と呼ばれ、2010 年 3 月末現在で第 9 号まで作成されています。

IAS と IFRS を総称し、IFRSs とも記します。

いまなぜ IFRS なのか？ IFRS 対応が急がれるのはなぜか？

世界共通のモノサシ

世界中で利用可能な単一の会計基準を作成することで、どこの国の企業であっても共通のモノサシで企業の実態を把握できるようになります。現在それは各国の会計基準の IFRS への収束という形で進んでいます。

IFRS への収束というのは、いわゆる会計基準のコンバージェンスと呼ばれるもので、'convergence' は「統合」や「収れん」と訳されることもあります。

IFRS 適用の対象企業

IFRS 採用によって、株式を上場している企業の会計処理は、相応の影響を受けることとなります。一部では IFRS が小規模企業や零細企業など、株式を上場していない企業にも適用になるのではないかと、ということが危惧されていますが、IFRS の適用はあくまでも上場企業が対象とされています。非上場企業への適用は予定されていません。また、日本の制度会計に英語を使うことも予定されていません。

IFRSを巡る背景

2000年に、IASCが数十年にわたって開発してきたIASを世界の証券規制当局の国際機構（IOSCO）が、異なる国の企業が利用可能な会計基準として、支持した。

2001年には、迅速な基準設定を目指し、常勤メンバー（理事）を中心とする現在のIASBに改組された。IASBは独立した会計基準設定主体であり、15名の理事がいる（2010年3月末現在、うち日本人1名）。



欧州においては、翌年の2002年にIASの適用に関する規則が採択され、EU域内の上場企業は2005年よりIFRSに準拠した連結財務諸表を作成することが義務付けられた。域内の市場統合を目指すEUが、インフラである会計基準についても統一するために、IFRSを採用することにメリットがあると判断したことに基づく。



米国財務会計基準審議会（FASB：Financial Accounting Standards Board）とIASBが2002年10月に、「ノーウォーク合意」を公表し、両者の会計基準の互換性をより高めるために、将来の作業計画を相互に調整することなどに合意した。この時からコンバージェンス（収れん）が始まったといえるだろう。さらに2006年にはコンバージェンスを加速させるための覚書（MoU：Memorandum of Understanding）を公表し、具体的な作業計画を示した。

2008年11月に米国証券取引委員会（SEC：Securities and Exchange Commission）はIFRS採用に向けてのロードマップ案を公表し、2011年までにIFRSを採用するか否かを決定するとしている。2010年2月に公表した声明においても、この方針に変更はない。

欧州や米国以外では、オーストラリア、カナダ、韓国、中国、インドをはじめ世界100カ国以上（ただし欧州諸国を含む）がIFRSを採用又は将来的に採用することを表明している。

2000

IOSCO IAS を支持

2001

IAS から IFRS

ASBJ 設置

2002

ノーウォーク合意

2005

EU 強制適用

オーストラリア採用

2006

MoU 公表

2007

東京合意

2008

米国 SEC

ロードマップ案 公表

2010

金融庁任意適用認可

米国 SEC ロードマップ
を確認する声明を公表

2012

金融庁最終決定予定



日本では2001年に民間の会計基準設定主体として、財務会計基準機構（FASB：Financial Accounting Standards Foundation）を母体とした企業会計基準委員会（ASBJ：Accounting Standards Board of Japan）が設置された。

ASBJは2005年にはIASBとのコンバージェンス作業を開始し、2007年に2011年6月という期日目標を設定することで合意した（東京合意）。2009年9月にASBJは計画を更新し、一部前倒しで作業を完了する予定としている。

日本の金融庁も2010年3月期から企業に任意で連結財務諸表にIFRSを適用することを認めている。また強制適用の時期については、2012年を目途として最終判断を下すとしており、その場合には、2015年ないしは2016年に適用開始となるだろう。

日本の会計基準とどこが違うのか？

日本基準はルールベース（細則主義）と言われており、数値基準など詳細で具体的な規定がある程度設けられ、それに準拠して処理されることが多いといえますが、基準の整備されていない分野もあります。これに対し、IFRSではプリンシプルベース（原則主義）の立場を取ります。詳細なルールで会計処理を規定するのではなく、大きな原則を示し、これに基づいた会計処理と説明が求められることとなります。

1) 原則主義

IFRSでは資産、負債の定義を重要視し、それらの当期と前期との差額のうち出資者との取引を除く部分を包括利益として認識します。これを「資産負債アプローチ」と呼びます。一方、日本の会計基準は、「収益費用アプローチ」と呼ばれ、利益情報に着目して企業価値評価を行うという考えを取ってきました。

2) 資産負債アプローチ



IFRSを語る主要な特徴

3) 公正価値

IFRSでは、時価評価の具体的な概念として、「公正価値」による資産・負債の測定を導入し、貸借対照表に企業の経済的実態を反映させることを重要視しています。逆に日本基準は過去から現在までの利益を重要視してきたと言えます。なお、IFRSであっても、事業用の有形固定資産などを常に時価評価することを求めているわけではありません。

4) 投資家の視点

IFRSでは、企業外部に評価視点を置くことで投資家の意思決定に対してより有益な情報を提供することを重視しています。原則主義に鑑み、経営者の説明責任はさらに高まるでしょう。

IFRS導入によって期待される効果

グローバルマネーの更なる呼び込みが期待できる

国によって会計基準がまちまちであれば、投資家はそれぞれの企業を比較検討し、分析することが困難になります。IFRSという共通の基準で比較分析が可能となれば、世界の投資家はより日本市場に投資をしやすくなります。

投資判断の効率化

企業の財務情報の基礎となる会計基準が同じであれば、投資情報の比較可能性が高まり、投資判断が効率的に行えるようになります。

連結財務諸表作成の効率化

世界中に子会社を持つ企業にとっても連結財務諸表を作成するに当たり、同じ基準を世界中で一貫して利用できれば、財務情報の作成が効率化でき、なおかつ均質なものが提供できるようになります。



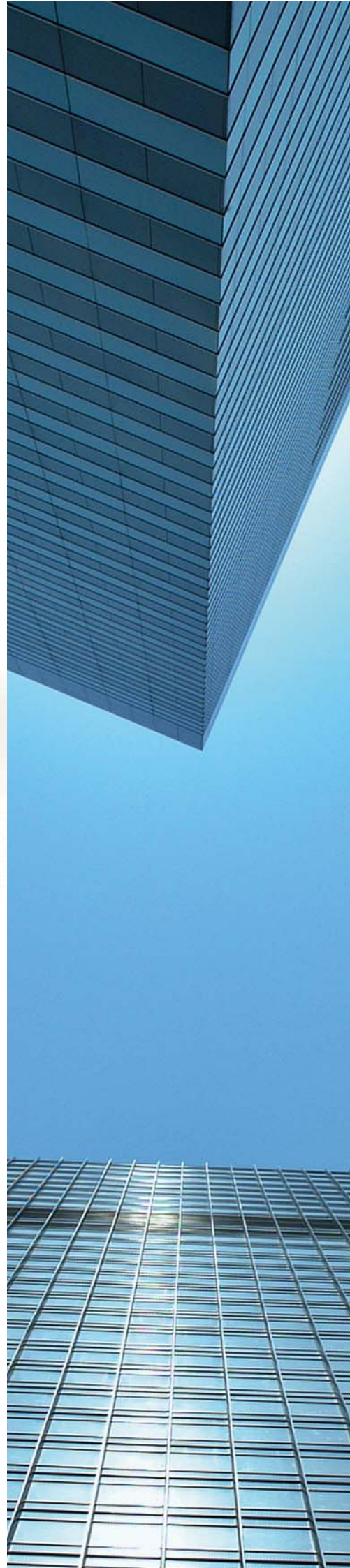
最後に：

日本公認会計士協会の取り組み

日本公認会計士協会では、大手監査法人以外の監査法人や公認会計士についても、IFRSに基づく連結財務諸表の監査ができるよう、研修や情報提供などの支援をしています。

IFRS 受け入れに向けた対応等を踏まえ、IFRSに係る情報の収集や発信等を行う窓口としてIFRS デスクを設けています。日本公認会計士協会のIFRS ウェブサイトをご覧ください。

IFRS ウェブサイト：<http://www.hp.jicpa.or.jp/ippan/ifrs>



Justice for Fairness

公正を求める心



日本公認会計士協会

The Japanese Institute of Certified Public Accountants

〒102-8264

東京都千代田区九段南 4-4-1 公認会計士会館

TEL : 03-3515-1120 (代表) <http://www.jicpa.or.jp>

IFRS ウェブサイト : <http://www.hp.jicpa.or.jp/ippan/ifrs>

(2010年3月31日作成)